

高校等コミュニティ・スクール連絡会議【発表用資料】

※学校名 山口県立華陵高等学校

1 今年度の主な取組について

- 取組1：特色ある学校づくり（英語教育と国際交流活動の推進）
内 容：国際交流活動として、オーストラリアの姉妹校へ本校から28名の生徒が訪問し、ホームステイした。また、韓国の姉妹校とは、相互に2名ずつ派遣、受入を行った。9月には、岩国のペリースクールの生徒18名が来校し、授業に参加した。小中高の連携英語教育、県立大と提携した英語教育も実施している。
- 取組2：学校運営協議会委員と生徒会の熟議
内 容：「華陵高校を更によくするために」というテーマで、学校運営協議会委員と新生徒会の役員が、6名程度の4つのグループに分かれて華陵高校の「良さ」「課題」「さらに良くするための方策」について協議した。司会・記録は生徒が行い、最後に各グループの協議内容を発表しあった。
- 取組3：地域の祭「きつねの嫁入り」に参加
内 容：例年11月3日に盛大に行われる地域の祭に、生徒会を中心にした有志の生徒41名、教職員6名が、自主制作の神輿を担ぐ神輿隊、踊り隊、腰元に分かれて参加。祭を通して地域の活性化に寄与するとともに、地域の人々との交流を図った。行事終了後は、全員で、祭の後のゴミ拾いを行った。



2 学校運営協議会で出された意見を生かした取組について

- ①「学校運営の改善」についての意見
- ②「教育の質の向上」についての意見
- 意見1：①学校支援という観点から、もっとPTAを活用するとよい。おやじの会とか、学校側から頼むと応援してくれるのではないかと。
取 組：文化祭の際に、PTA バザーや焼き鳥、綿菓子の製造販売で支援をいただいた。
- 意見2：②学校支援として婦人会に協力を得ることができないのではないかと。
取 組：今年度より市の農林水産部と連携して、地元でとれた魚を家庭科（調理）の材料として活用出来るようになった。その際に、魚のさばき方を生徒が婦人会の方々から習える仕組みができた。
- 意見3：①華陵の特色である留学生のホームステイ先に苦慮しているのであれば、市の広報等と相談するとよいのではないかと。
取 組：市の広報には相談していないが、地域の集会において、ホームステイ先の依頼をし、短期の受入先を確保できた。また、ホームステイをお願いする上で、地域における支援先（受入候補）を理解できた。



3 その他（工夫している点や課題等）

- 学校の取組状況をできるだけ映像（動画、写真）に残し、学校運営協議会委員に分かりやすく説明できるようにしている。
- すべての活動を学校教育目標「グローバル・リーダーの育成」の下に行い、取組の目的や意義を生徒や教職員に明確にして実施するようにしている。
- 地域貢献活動を多く行っており、地域から要望されることも多い。やみくもに受けるのではなく、交通整理（スクラップ&ビルド）も必要。